

「埼玉縄文カード」 （第2弾） 配布事業について

埼玉県立歴史と民俗の博物館
特別展示・広報担当

埼玉縄文カードとは

埼玉県立歴史と民俗の博物館令和5年度特別展「縄文コードをひもとく」に関連して、当館を含めた県内10施設の連携事業として、カード配布事業（全14種）を実施しました。

「県内の博物館で縄文土器を観察し、カードを集めて、埼玉縄文博士になろう！」として呼びかけ、縄文土器への理解を深めるとともに、各施設間の回遊を促すことを目的としました。



前回参加機関と実績

カードNo.	配布場所	作成枚数	配布枚数	配布率
1	歴史と民俗の博物館	4000	3881	97%
2	歴史と民俗の博物館	4000	3799	95%
3	歴史と民俗の博物館	4000	3928	98%
4	歴史と民俗の博物館	4000	3874	97%
5	歴史と民俗の博物館	4000	3819	95%
6	歴史と民俗の博物館	4000	3895	97%
7	飯能市立博物館	2000	1199	60%
8	富士見市立水子貝塚資料館	1000	966	97%
9	毛呂山町立歴史資料館	1000	503	50%
10	本庄早稻田の杜ミュージアム	2700	1241	46%
11	神川町文化財展示室	1000	593	59%
12	春日部市郷土資料館	1000	808	81%
13	白岡市生涯学習センター 歴史資料展示室	1000	512	51%

※このときは、特別展「縄文コードをひもとく」に関連していたところに声をかける形で参加機関が決まりました。

第2弾の実施について

前回参加機関から好評だったほか、未参加機関からももしまた開催されれば参加したい声を多数いただきました。

そこで、令和8年度企画展「土をこねこね1万年～土製品の考古学～」に際して第2弾を実施します。

★前回参加機関の感想

県内外から土器を目当てに来館する方が多く、これまで少なかった地域からの来館者が増えたように感じました。配布期間中の入館者は、前年度比約20%増でした。

予想を超える来場者に驚いております。次がございましたら、またよろしくお願いいたします。

大変楽しい事業でした。当館自体の知名度をアップする目的で参加いたしました。

令和8年度企画展

「土をこねこね1万年 ～土製品の考古学～」について

縄文時代から古墳時代における埼玉県内の出土資料を中心に、土でかたどりで作られたものを紹介します。当時の人々が自分の周りの動植物や人、モノをどのように見て、どのように表現したのかを考えます。

第一章 ひとをかたどる

第二章 動物をかたどる

第三章 モノをかたどる

※章構成は企画段階のものです。

会期 令和8年7月11日（土）～令和8年8月30日（日）

埼玉縄文カード第2弾 イメージ

【サンプル】



【版式】 平版(フィルム版又はC T P 版)

【色数刷色】 4 色刷りカラー

【版面】 両面カラー刷り

【サイズ】 63mm×88mm

【用紙】 マットコート紙 四六判 220kg

【加工】 表裏両面PPコート、角丸（4ヶ所）

埼玉縄文カード第2弾 イメージ

【サンプル】

人面付き土版



埼玉県教育委員会提供 小川忠博氏撮影

埼玉縄文カード 999

草創期 早期 前期 中期 後期 晩期

ポイント!!

立派なお顔が付いたタブレット形の土製品。鼻の孔と口がしっかり表現されているよ。前にも後ろにも渦巻文様が描かれているよ。



顔面（拡大）

メモ

出土遺跡：深谷市原ヶ谷戸遺跡
大きさ：長さ●●cm
高さ●●cm
幅 ●●cm



埼玉縄文カード 特設サイト

所蔵機関

埼玉県教育委員会

土版は顔の表現がないものもあるよ。土偶との関係が気になるね。



★ 遺跡の場所

キノコ形土製品



埼玉県教育委員会提供

埼玉縄文カード 999

草創期 早期 前期 中期 後期 晩期

ポイント!!

キノコの傘の部分に裂け目があるよ。キノコをよく観察してつくったのかな。東北地方ではよく見かけるけれど、埼玉県ではとってもめずらし土製品だよ。



キノコ形土製品（上・横）

メモ

出土遺跡：久喜市小林八束1遺跡
大きさ：高さ 2.5cm
幅 4.5cm



埼玉縄文カード 特設サイト

所蔵機関

埼玉県教育委員会

縄文時代の人もキノコを食べていたのかな。



★ 遺跡の場所

埼玉縄文カード第2弾 参加条件

参加条件として、以下の3点を満たしていただく必要があります。

①カードに掲載する資料

県内出土の縄文時代の土製品
土偶、動物形土製品などの土製品が対象。

企画展「土でかたどる」出品資料でなくてもよいが、②を満たすことができるもの。

②展示が可能であること

企画展「土でかたどる」会期
前後に①の資料を展示する
一般の方がアクセス可能な公共施設など。（博物館でなくても）
企画展「土でかたどる」出品資料の場合は出品中の旨を代わりに掲示。

③事務手続きへの対応

歴史と民俗の博物館で一括
発注。納品後、個別に送付
される請求書にてそれぞれの分のみ支払いをしていただく方法で実施します。

参加条件 ①カードに掲載する資料

- ・ 埼玉県内出土の縄文時代の土製品、それぞれが所蔵するもの1点。
- ・ 企画展「土でかたどる」出品資料でなくてもよい。

※企画展「土でかたどる」への出品については随時調査にうかがう予定です。その際に本件についても相談します。

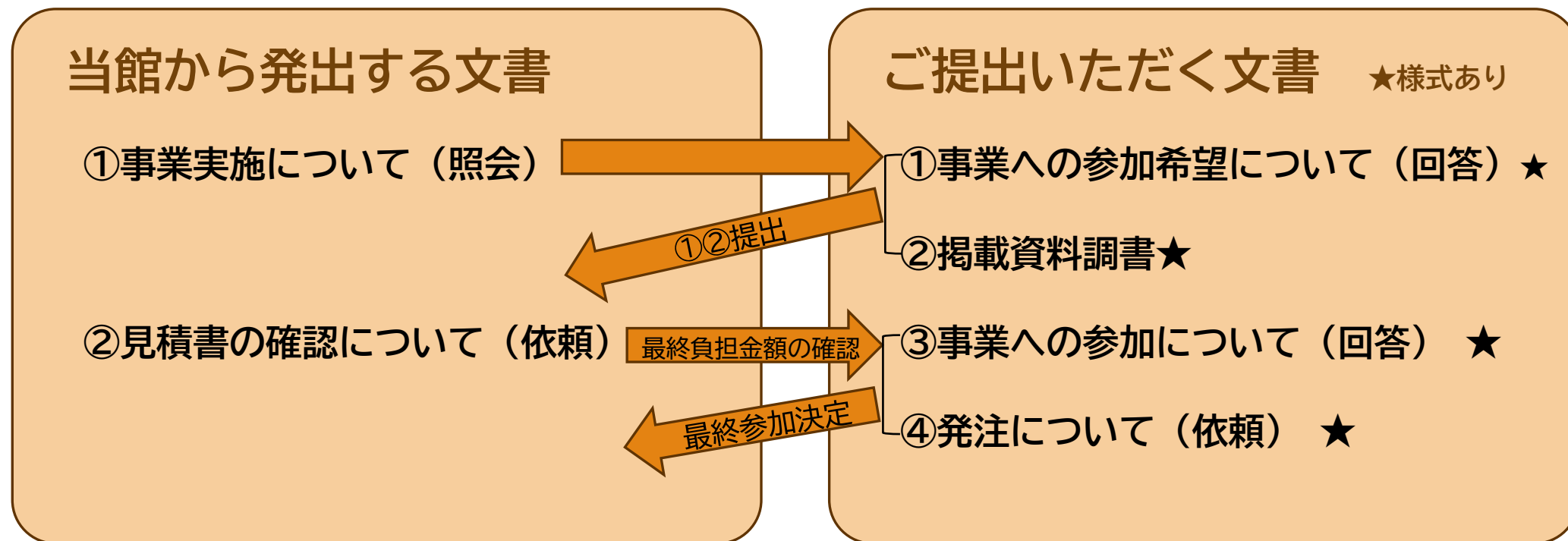
- ・ なお、各機関ごとの作成枚数は1種1,000枚を基本としますが、需要に応じて対応します。

参加条件② 展示が可能であること

- ・ 配布期間＝企画展「土でかたどる」会期（令和8年7月11日（土）～8月30日（日）中にカード掲載の資料を展示する。
- ・ 会期後の展示、配布については任意。
- ・ 展示場所は、一般の方がアクセス可能な公共施設など。（博物館でなくても可）
- ・ 展示方法も任意とするが実物を展示する。
- ・ 企画展「土でかたどる」出品資料をカードにする場合は、資料展示の代わりとしてカード配布場所で資料は出品中の旨を掲示すること。

参加条件③ 事務手続きへの対応

- ・ 歴史と民俗の博物館で一括発注。納品後、個別に送付される請求書にてそれぞれの分のみ支払いをしていただく方法で実施します。



発注・支払いの流れ

当館で一括発注します。

参加決定した機関には、発注を当館で行なうこと、個別に送付される請求書に基づいて支払いを行うことを記した発注依頼（様式あり）を提出いただきます。

支払いについては、当館と印刷業者で交わす請書の別紙に各機関ごとの印刷数、配布数を表記します。この請書の写しを各機関へお送りするので、請書と請求書を元に支払いを行ってください。

本事業全体での配布期間終了後のカードの取り扱いについては各機関におまかせします（引き続き配布、団体見学やイベントで使用、など）。

作成枚数と負担額

埼玉県立歴史と民俗の博物館 3種 × 4,000部

参加機関 各1種 × 1,000部 を想定。

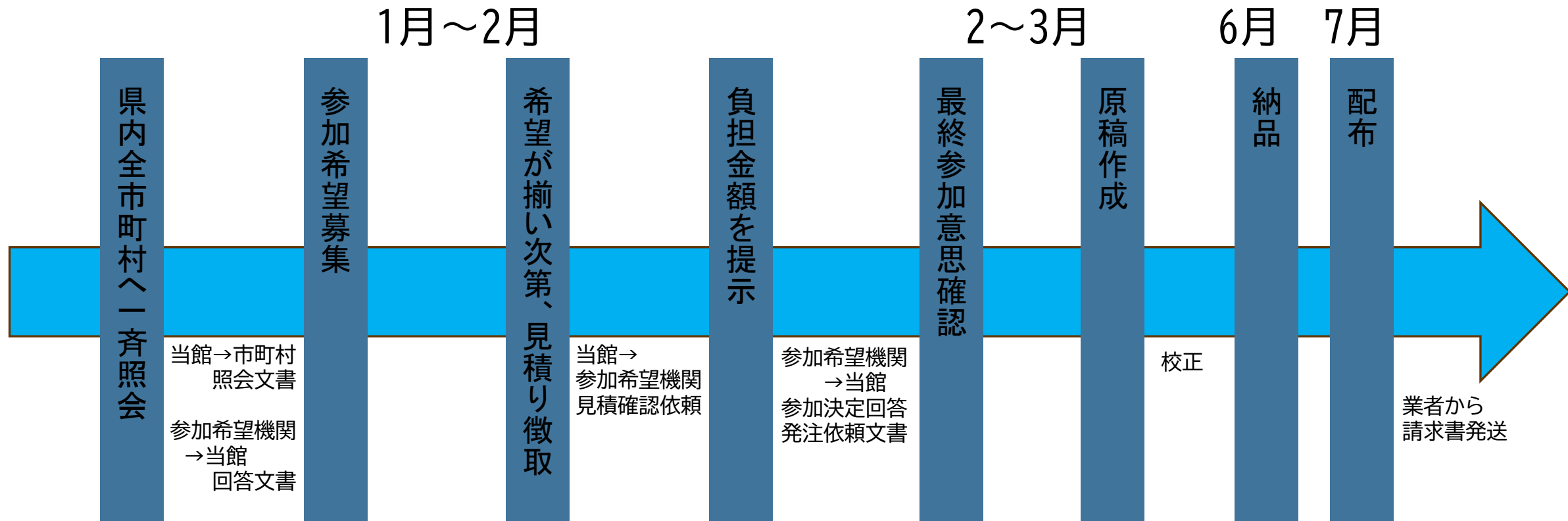
各機関の作成部数については要望に応じて変更可能。

参加機関数、作成数が多くなるほど作成費用は安くなります。

参加機関数	種数	単価	1,000部製作費(＝各負担額)
8機関(7＋当館)	10種	11.10円	11,100円
13機関(12＋当館)	15種	9.60円	9,600円
18機関(17＋当館)	20種	8.90円	8,900円
23機関(22＋当館)	25種	8.50円	8,500円

【参考】 前回作成業者による
見積り（11月28日現在）
※税抜き

参加までの流れ



記載事項について

参加を希望する場合は、掲載資料の選定と、記載する事項の御準備をお願いします。

名称/通称 (指定名称)	
出土遺跡名	
大きさ	
所蔵機関	
年代 (○をつける)	縄文時代 草創期 早期 前期 中期 後期 晩期
図版クレジット表記 (必要な場合)	
資料の見どころ、 注目点など	

【注意事項】 参加数の上限について

出来る限り多くの機関に御参加いただきたいと考えていますが、物理的、現実的に配布期間内で来場者が回遊できる機関数を考慮すると全20種程度が望ましいと考えています。

そのため、たくさんの参加希望をいただいた場合、抽選や、所在地のバランスを考慮した機関数の調整を行なう場合があります。

あらかじめ御了承ください。